

今日のトピック

日本株、ITバブル期の高値を上回る

ポイント1

取引時間中に株価は1996年12月以来の高値に

ギリシャ債務問題への楽観で上昇

- 24日の日経平均株価は、前日比58.61円高の20,868.03円となりました。終値で2000年4月12日に付けたITバブル期の高値(20,833.21円)を上回りました。
- 株価上昇は、企業収益が過去最高を更新するなか、ギリシャ債務問題への楽観的な見方が強まったことなどが背景です。
- 米ドル円レートが、一時124円台を付けるなどやや円安の動きとなったことも株価を後押ししました。

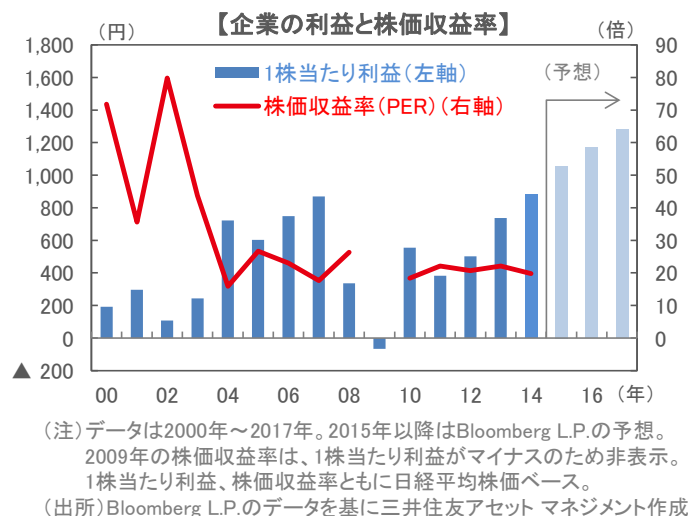


ポイント2

企業の中長期的な収益性向上への期待が高まる

2015年は20%増益へ

- 企業が株主を重視する姿勢を強めていることも株価上昇を支えています。自社株買いなどにより資本効率を高める企業や社外取締役を増やす企業などが増え、日本企業の収益性が中長期的に向上する期待が高まり、海外投資家も注目しています。
- 日経平均株価ベースの1株当たり利益は、2014年に7年ぶりに過去最高を更新し、2015年は前年比+20%と引き続き好調が見込まれます。



今後の展開

企業収益の拡大に沿って株価は底堅い展開へ

- アベノミクスの成長戦略には企業の「稼ぐ力」を取り戻す施策が盛り込まれ、企業統治改革も進みつつあります。7月には新たな成長戦略が始動する予定です。日銀の「異次元緩和」の継続とあわせ政策面からのサポートが引き続き期待されます。

- 景気回復と公的年金資金による株式需給の下支えもあり、株式市場を取り巻く環境は今後も良好と見られます。中国景気の動向など不透明な要素もありますが、株価は企業収益拡大に沿った展開が期待されます。

ここも チェック!

2015年06月23日 「外国人旅行者」、年1,800万人超のペース(日本)
2015年06月22日 「株主総会」、投資家との対話に注目(日本)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。